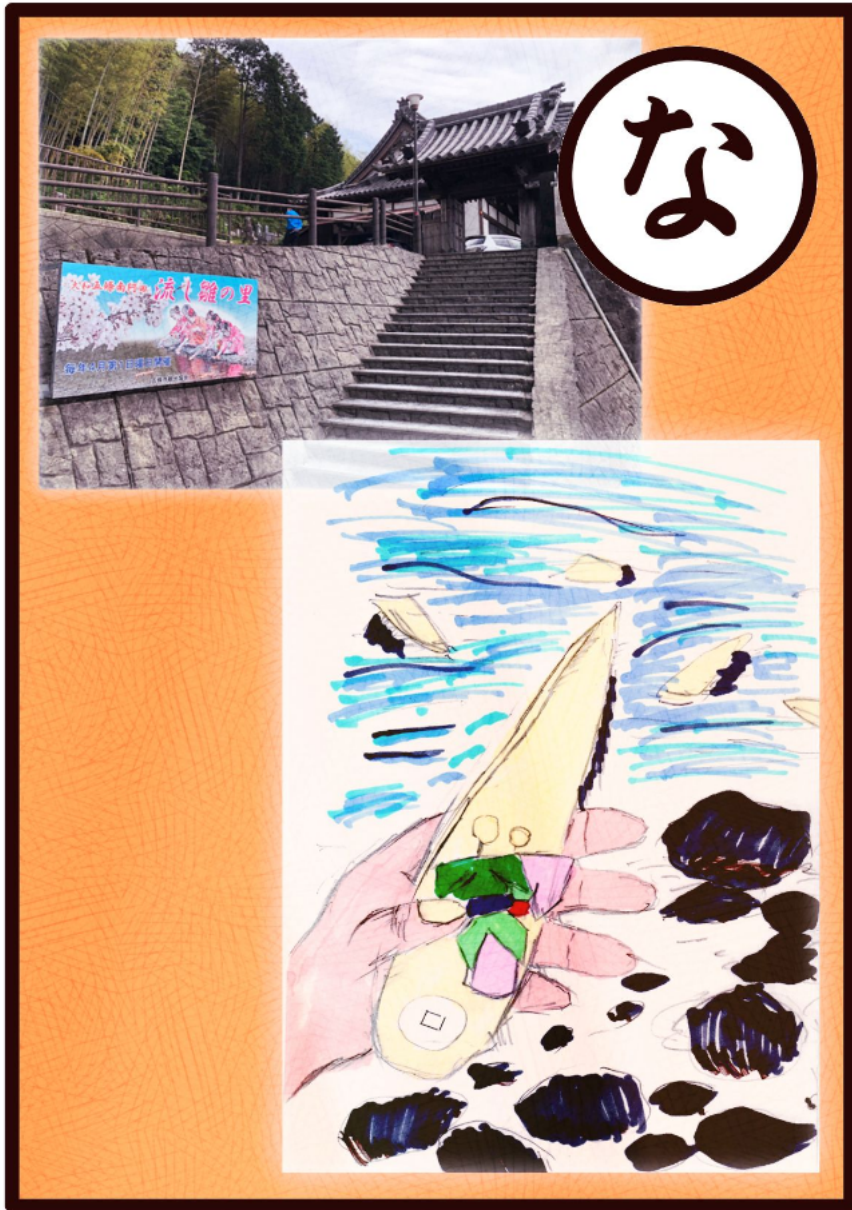


流し雛(ながしびな)



ながしびな
淡島神社に
無事届け

流し雛とは…

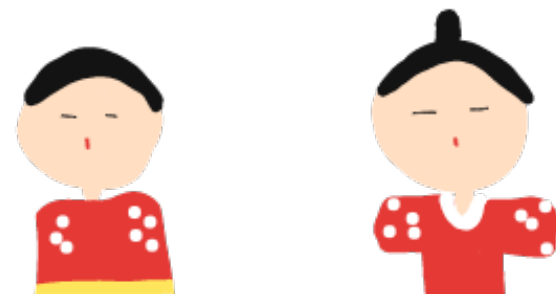


雛祭りの元になったと言われる行事。

流し雛は**雛祭り**の日、**3月3日**に始まった

男女一対の紙雛を棧俵にのせ、桃の小枝と椿の花や菜の花を添えて、災厄を託して千代川に流します。

無病息災で1年間幸せに生活できますように願う
行事です。



実際に私の学校、五條東小学校でも流し雛の活動をしました！



↑ 体育館で学習したことを、他の学年に教えてくれました。

実際にブルーシートを川と見立て流し雛を流す体験もできました。

雛も作ったよ！！

雛の顔…大豆

雛の体…折り紙

折り紙に爪楊枝をつけて、
爪楊枝の先っぽを大豆に刺して作ったよ

流し雛を流している吉野川に学習をしに行きました。↓



流し雛の雛が乗る船は基本、竹の皮でできたもの
ですが、 ↓ **栗の葉でできた船**もあるそうです。



栗の葉

? 淡嶋神社はどこにあるのか

なぜ淡島神社なのか

なぜ、読み札には淡島神社と書いてあるのか

淡嶋神社は、和歌山県和歌山市加太にあります。吉野川から雛を流し、和歌山県和歌山市加太にある淡嶋神社に届くようにという思いが、読み札に込められているのです。吉野川から淡嶋神社までは川で繋がっているのです。

淡嶋神社は、女性の病気回復や安産祈願など「**女性のための神様**」として信仰を集めていて、昭和37年から毎年桃の節句の3月3日に、女性や子供の一年の幸せを願って、雛流しが行われています。なので読み札には、

「ながしびな 淡嶋神社に 無事届け」

と書いてあるのです。



流し雛についての感想

流し雛は阿太の行事なので、宇智地区に住んでいる私はあまり知りませんでした。六年生になってから一度五年生に教えてもらったけど、まだまだ知らないことがたくさんありました。でも今回流し雛についてたくさん調べたので、船は基本竹の葉出来ているけど栗の葉などでも出来ていると知ってびっくりしました！

また、読み札に書いているのはなぜ淡嶋神社なのかも疑問に思っていたので知れてよかったです！ 😊

この私が学んだことが、もっともっと街に広がっていくと嬉しいです 😄

作成者 M.R.

